

巻頭言 / そこが知りたい

『住宅情報』をフリーペーパーに / その裏に見えてくるもの

リクルートは、7月8日に<首都圏の新築マンション専門の無料週刊住宅情報誌！『住宅情報 マンションズ』創刊 / 首都圏に毎週10万部を配布 / 2005年8月23日（火）スタート>というリリースを発表しました。

「あの住宅情報がフリーペーパーになる」という不動産・住宅業界によっては衝撃的なニュースなのにも関わらず、珍しく簡素なリリースでA4 1枚に事実を列挙したのみ。記事に取り上げたのも朝日新聞（8日付け朝刊）だけだったようですので、まずは『asahi.com』（2005年07月08日13時45分）の記事を再掲してみましょう。

『asahi.com』の記事（朝日新聞8日付け朝刊も同じ）は、全文次のとおりである。

情報サービス大手のリクルートは8月から首都圏で、これまで有料だった週刊「住宅情報スタイル」を実質的に無料にする。無料雑誌（フリーペーパー）は従来、有料雑誌とは別の消費者層をつかむために発行されてきたが、有料雑誌をフリーペーパーに衣替えするのは極めて異例だ。

現行の首都圏版のスタイル（1部280円、約5万部発行）は8月上旬に発行を終える。標準的な新築マンション（首都圏で1戸3,000万～6,000万円程度）の物件情報を掲載する週刊の無料雑誌「住宅情報マンションズ」を首都圏で8月下旬に創刊し、駅やコンビニエンスストアなどで配布する。10万部発行を見込んでいる。

首都圏新築マンション購入者の7割は都内の23区内に通勤しており、標準的なマンション物件情報は無料雑誌の形で駅などで配ったほうが効果的と判断した。有料での販売部数が減少傾向となっていることも理由だ。首都圏以外の地域では有料の週刊「住宅情報」を引き続き発行する。

また、9月下旬には、1戸6,000万円以上の高額物件を中心に扱う月刊の「住宅情報（仮称）」を首都圏で1部500円程度の有料で新たに発行。これまで取り組みが遅れていた富裕層向けマンション情報を強化する。（記事はここまで）

ところで、Yahoo! JAPANでは、今秋に行う『Yahoo! 不動産』のリニューアルに向け、「新築物件情報」の刷新をその大きな柱と位置づけ、このほど『Yahoo! 不動産』への広告を専門に取り扱うクラシファイド社と提携した。（本誌7ページ参照）

Yahoo! JAPANでは、クラシファイド社を通じ直接不動産会社より情報提供を受けることにより、コンテンツの内容が豊富となるため、お客様、情報提供元それぞれに、より満足度の高いサービスを提供できるものと考えている。

リクルートとYahoo! JAPANの動き。一見関係がないようにみえますが、背後では不動産広告の獲得を巡って戦略的な戦いが始まっているようなのです。Yahoo! JAPANは、「Yahoo! 不動産 それ以外の不動産サイトは××すら許さない方針のようだ」（実際に締め付けが始まっているらしい）という声も聞こえてきますね。そんなことは許されませんが、新しい陣地合戦が始まったのは確かなのではないのでしょうか。